

いいな

一七会・会報

さわやか大学校
熊本校第17期
いいな会発行

巻頭言



―長い間お世話になりました―

いいな会 会長 伊津野 豪

私たちさわやか大学17期OB会（いいな会）は2009年（平成21年）4月、96名の会員によって設立されました。爾来、今日まで会員の健康と研修、そしてなにより会員相互の親睦を目標に活動してきました。

一方、15年経って会員の平均年齢も15歳上昇しました。残念ながら年月に反比例して会員数は年々減少。本年度は27名の会員になりました。また各種行事に参加できる人は15名前後になってしまいました。

そんな中、昨年の1月25日にいいな会事務局長の野中さんが倒れられ、一年間闘病されましたが、薬石効なく先日天国へ旅立たれました。残念でなりません。

その後、いいな会は大黒柱が倒れた家、船頭さんがいなくなった船のような会になってしまいました。名前だけの会長だった私が1年だけ事務局長を兼ねていいな会の運営を任されることになりました。私なりに連絡の簡略化などいろいろ考え、ラインを利用したりしてみました。結果は皆さん御存知のとおりです。事務能力のなさ、管理能力の欠如、などなど反省することばかりです。痛切に責任を感じています。

名前だけだったとはいえ、私の会長在任期間はあまりに長くなってしまいました。会長職に定年制を設けていなかったことが原因かもしれません。

長年事務局長だった野中さんが逝き会長だった私が後を追って辞めるのは無責任だと思われるでしょうがご容赦ください。幸い私の後を元氣な田島さんが快く引き受けてくれることになりました。今後は田島新会長に協力し、邪魔にならないように心がけ、いいな会のお手伝いをしたいと思います。最後に会員の皆さんのご健康をお祈りします。大変お世話になりました。

『令和五年度のいいな会活動状況』

事務 （田島代筆）

令和五年度も新型コロナウイルス感染拡大と、インフルエンザのダブル感染の中で何とか、いいな会の活動を続けてまいりました。

途中、野中正輝さんや、坂口千治さんのご逝去が、寂しくてたまりません。

合掌

四月五日、さわ大十五回定期総会
（中央公民）& 観桜会を白川公園にて
実施



五月十六日役員会。そば処ひらや
まにて昼食会を兼ねて実施

七月四日役員会は大雨の為中止

松野さん宅他が浸水被害を受ける

七月二五日役員会。新港ホーリーシ

エフで昼食会を兼ねて実施

九月五日いいな会日帰り旅行

佐俣の湯にて昼食懇親会





九月十九日役員会。パレアホールにて実施

十二月十二日いいな会忘年会昼食会を実施、於 八潮

一月三〇日役員会。パレヤホールにて実施

三月五日新旧役員顔合わせ会。パレヤホールにて実施

本日令和六年四月二日に定期総会 & 白川公園にて観桜会予定



会員 投稿

近 況 報 告

さわやか講演会で学んだこと

すみれ組 津川泉一

せんじつのパートナーシップ講演会で、元日赤健康センター所長の小山和作

先生のお話を聞きました。免疫療法で自分の喉頭がんを治されたそうで、人の免疫機能の力を知りました。

末期がんですぐ手術で取らないとダメですとの診断で、手術をすれば声が出なくなりますと言われたそうです。そこで手術をしないで治す免疫療法に切り替え治療された結果、見事に癌が消失し健康を取り戻されたというお話でした。

まずその決断に感動しました。癌の治療に免疫療法があることも初めて知りました。小山先生の話聞いて、自分の健康や病気を知ることの大事さを改めて考えました。

私は九年前に肝臓がんの手術をし、今は五か月ごとにエコーや血液検査を受けています。特に血液検査の重要な項目だけは勉強してわかるようになりました。知ること、よって生活習慣も

運動の大切さもわかりました。月に一度のかかりつけ医師の診察の受け方も変わりました。一時間待ちの三分診療と言われますが、だからこそ効率よく、聞きたいことと自分の体の状態を伝えることです。九〇歳にもなると老化が進み、病的状態との境がわからなくなります。医者任せの診察では何もわかりません。上手な診察の受け方で、持病と上手く付き合いながら、残りの人生を元気に過ごしたいと思っています。



(ワンピースのフランキー像)

美絵の独り言

すみれ組 宮崎美絵

10代の頃のゆつたりとした時の流れが、いつからこんなに1年1月1日が早くなり、追いつけないと、感じられる様

になったのは天国が近づくのと比例して
る!!

話変わって地球温暖化と言われた昨夏を通りこして沸とう時代の到来と言われ子や孫の未来に不安を感じたり、近頃、そして朝目ざめにウグイスの声、あゝ田舎って素敵とハートヌク『2』な私なのです。

春の香りに包まれカワイイ花々を眺めながら何だかんだいいながら案外幸せに年齢を重ねて来ているじゃない何て言いながら日々感謝しながらの今日この頃です。

『人世手帖』縁 今も続く交流』

カラー組 古瀬武夫

昭和四十年代はサークル活動が盛んで、私も月刊誌「人世手帖」を軸とした読者サークル「緑の会」に参加していた。このサークルは全国各地の読者で構成

されていて、熊本県には私が参加した熊本緑の会と本渡緑の会があった。

「人世手帖」には若者のこれからの生き方や悩み等が解説され、私たちが投稿した文章も多く紹介されていた。将来を夢見ていた私たちは、毎月発刊される「人世手帖」を楽しみにしていた。

当時、私たちのサークルは、十代、二十代の青年ばかりで、月二回の例会を行っていた。一回目は本の内容を中心に、大いに討論して情報を分かち合い、励みになったことを覚えている。二回目はフォークダンスを踊ったり、夏にキャンプ等を楽しんだりした。年一回発行の会報誌「銀杏」は、皆と協力してガリ版(鉄製のヤスリ板を下敷きにロウ紙を載せ、その表面に鉄筆で文字を書いて印刷する簡易印刷機)で幾日もかけて作成した。今でもその会報誌を読むと、その当時のことが思い出され懐かしく

感じる。「人世手帖」は廃刊となったが、今でもその当時の仲間たちとの交流が続いている。毎年四月の第一日曜日に熊本城の二の丸広場に集まり、お互いの近況を語り合い、六十年に近い友情を保っている。これも私たちを引き合わせた「人世手帖」のおかげだと感謝している。

「追伸」

これは昨年の十月に熊日新聞が募集した特集「読書週間」に応募して採用された掲載文です。よろしくお願ひ致します。



親子旅 !!

りんどう組 河野久美子

主人が天国へ旅立って早や7年。残された私達三人は、息子の発案で毎年旅行をする事にしました。三人だけの旅です。部屋はひと部屋。和気あいあい。結婚してそれぞれ家庭を持ち知らない面も多くなり、へえーと感心することもあります。

新鮮味あふれる二人と老いを迎えた私。旅先では歩く事も多く有ります。転ばないように、気を付けながら息子の手を借ります。幸いな事に骨密度が良くて助かっています。それでも何時、何が起こるか、わからない年寄りです。

足元に気を配り確かな歩みが出来様に日々努力の毎日です。

今年は米寿を迎えます。全員集合での祝宴と三人の旅行が待っています。二泊三日の楽しい旅です。

エイジシュート四回目達成！

うめ組 田島恒男

ゴルフでエイジシュートとは自分の年齢より少ないスコアでプレイできたことを指します。

昨年九月十三日に、阿蘇大津ゴルフクラブにて自己ベストスコアの七十二でプレイ出来、四回目を達成できました。アンダープレイとまではいきませんでした。(笑)。

今後も精進してベストスコアを目指して、楽しくゴルフができるように健康に留意して体力増強を図っていききたいと思います。健康に感謝!!



会員投稿

文芸コーナー

故野中さんの一昨年の遺稿作品です

川柳 狂句

元うめ組

野中 政輝

温暖化

有明海にや

海苔も消え

温暖化

四季の移り目

消えて行く

もう来るな

オミクロン株

次ぎや要らん

もう来るな

こっちはみんな

接種済

いいな会

十三歳になつたばい

いいな会

まだまだみんな

達者です

いいな会

この繋がりは 良かなあ

合掌

編集後記

今年の新年会もコロナ禍の中で満足のいく会が出来ませんでした。皆様との会話や、お会いすることもままならぬ状況の中、必死にコロナに立ち向かっていきましょう。これからも皆さんと共に活動的に健康な毎日が送れますように、日々精進してさわ大いいな会が継続できます事をお祈り致します。

文章中の数字や、漢字、句読点等については寄稿文のまま掲載しています。

会報誌編集員（田島恒男）

延暦寺の龍↓



インターネットでも（さわやかいいな会 会報誌二十号）をカラーで見られます。

（『熊本さわやか長寿財団』のホームページにあります。）